

平成30年度

埼玉大学大学院教育学研究科
(修士課程・専門職学位課程)

概 要



Saitama University
埼玉大学

埼玉大学大学院教育学研究科
〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255
TEL 048-858-3144

1. 教育学研究科の目的

大学院教育学研究科は、教員の養成を主な目的とする学部の子くみを基盤として、人間・社会・自然に関する広い視野を保ちながら、学校教育に関わる理論的かつ実践的な研究と教育を行うことにより、わが国の教育水準の向上に必要なかつ豊かな専門的スキルを備えた人材を育成することを目的とする。

本研究科の特色の一つは、通常の学生に加えて、現職教員が現職の身分のまま在籍し、最新の研究成果と方法を学び、学校教育が抱える諸問題に対する的確に対応できる高度な研究力と実践力を培う機会を提供することである。

修士課程は、主に学校教育に関する高度な研究と研鑽の機会を確保し、将来におけるわが国の教育を支え向上させる高度な研究力をもった教員を育成することを旨としている。入学者の選抜にあたっては、現代の教育課題を解決しようとする熱意とともに、教育関連諸科学や教科について理論的に追求しようとする意欲を有していることを重視する。

専門職学位課程は、研究者教員と実務家教員の共同による、理論と実践の融合型カリキュラムを特徴とし、社会の変化とともに学び続け、教員集団の中核として活躍する実践的探究力と課題解決力をもった教員を育成することを旨としている。入学者の選抜にあたっては、教職への熱意とともに、現代の教育課題の解決に向けて、理論と実践の往還を通じて教育実践を省察・理論化しようとする意欲を有していることを重視する。

2. 教育学研究科の構成

本研究科は、平成28年度より教職実践専攻（※いわゆる教職大学院）を新設し、特別支援教育専攻を廃止し、次の3専攻から構成する。

（1）学校教育専攻〔修士課程〕

① 学校教育専修

本専修は、「教育学分野」、「幼児教育分野」の2分野から構成されている。

ここでは各専修・各分野の高度な専門性と、幅広い総合性に基づく研究・教育により、学校教育に対する論理的・実践的な深化がはかられている。

② 心理・教育実践学専修

本専修は、「心理学分野」、「教育実践学分野」の2分野から構成されている。子どもの発達や学習、教育相談等についての高度な専門性を持ち、教育実践の在り方について提言できる人材を養成する。

③ 学校保健学専修

本専修は、学校現場における実践的研究者として、学校保健・学校安全の理論と実践の発展に指導的な役割を果たし得る養護教諭及び学校保健・学校安全活動のリーダーシップをとる一般の教諭・養護教諭の力量向上を目指した教育と研究を行う。

（2）教科教育専攻〔修士課程〕

本専攻は、「言語文化専修 国語分野」「言語文化専修 英語分野」「社会専修」「自然科学専修 数学分野」「自然科学専修 理科分野」「芸術専修 音楽分野」「芸術専修 美術分野」「身体文化専修 保健体育分野」「生活創造専修 技術分野」「生活創造専修 家庭分野」の10専修・分野で構成されている。これら各専修では、あるものは専門分野の教育科学的研究に、あるものは芸術学的研究に、またあるものは体育学の研究に、その教科の高度な専門領域を究め、同時にこれら専門領域と、教科教育学とが結合する接点における総合された研究と実践が行われている。

（3）教職実践専攻〔専門職学位課程〕※いわゆる教職大学院です。

本専攻は、「教育実践力高度化コース」、「発達臨床支援高度化コース」の2分野から構成されている。

教育実践力高度化コースは、教育課程の編成や校内研修の企画・立案、カリキュラム開発、教材開発、授業設計・展開・評価・分析等について、最新の理論と専門的知見に裏打ちされた高度な実践力を身につけ、組織マネジメントや人材育成、地域連携や危機管理等、学校経営の視点に立った高度な課題解決能力を育成し、教育の改革、充実を目指す諸活動のリーダーとして活躍できる人材を養成する。

発達臨床支援高度化コースは、教育現場におけるいじめ、不登校、虐待、発達障害への対応等さまざまな教育的ニーズに応じた適切な学習支援や生活指導等について、現代科学の諸理論と実践力を基にした高度な問題解決能力を育成し、地域・学校においてリーダーとして活躍できる人材を養成する。

3. 履修方法

(1) 修得単位数

専攻別に、次の基準に基づいて履修する。

【学校教育専攻・教科教育専攻】

区 分	修得単位数	備 考
共通科目	2	(1) 学校教育専攻学校教育専修の学生は、専修に関する科目14単位のうち、8単位以上は主として履修する分野から修得するものとし、「学校教育基礎論」を必修とする。
専修に関する科目	14	(2) 学校教育専攻心理・教育実践学専修(心理学分野)の学生は、専修に関する科目14単位のうち、8単位以上は主として履修する分野から修得するものとし、「心理実習」を必修とする。
自由選択科目	10	(3) 学校教育専攻心理・教育実践学専修(教育実践学分野)の学生は、「臨床授業研究特論」を必修とする。 (4) 学校教育専攻学校保健学専修の学生は、専修に関する科目14単位を学校保健学専修の開設科目より修得するものとし、学校保健総合領域「学校保健フィールドスタディ特論A」を必修とする。
課題研究(研究指導)	4	(5) 学校教育専攻学校保健学専修の学生は、自由選択科目10単位のうち、6単位以上は学校教育専攻の開設科目より修得するものとする。
計	30	(6) 教科教育専攻の学生は、専修に関する科目14単位のうち、所属する分野(社会にあっては専修)の教科教育領域から4単位以上、同教科専門領域から4単位以上修得するものとし、総合領域の「(各教科名)教育基礎論」を必修とする。

【教職実践専攻】

区 分	修得単位数	備 考
共通科目	20	(1) 共通科目20単位、実地研究10単位、課題研究4単位は全ての学生が修得するものとする。
学校における実習科目(実地研究)	10	(2) 教育実践力高度化コースの学生は、コース科目のうち「教科の学習指導と実践」を必修とする。
課題研究	4	(3) 発達臨床支援高度化コースの学生は、コース科目のうち「学校コンサルテーション・教育相談演習」を必修とする。
コース科目	12	(4) コース科目は、上記必修のほか10単位を修得するものとする。
計	46	(5) 学部卒業院生の「実地研究Ⅰ」は、附属小学校・附属中学校・附属特別支援学校で履修する。「実地研究Ⅱ」は原則として公立小学校・公立中学校・公立特別支援学校で履修する。

4. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について

本研究科では、現職教員等に対して、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を適用し、

現職教員等が専門的教育を受ける機会を拡大するための措置をとっている。

< 学校教育専攻・教科教育専攻 >

【現職派遣教員】

修了年限2年のうち1年間のみ現職を離れることができる場合は、第1年次は現職を離れて通常の間帯の通学履修をし、課程修了に必要な30単位のうち24単位をめどに修得する。第2年次においては、現職に復帰し勤務しながら、定期的または集中的に授業・研究指導を受け、課程修了に必要な残りの単位を修得するとともに、学位論文（または「教育実践特別研究」）を作成する。

【派遣教員以外の現職教員等】

修了年限2年の全期間勤務する場合は、平日の夜間（6時限および7時限）または土曜日を活用しつつ定期的または集中的に授業・研究指導を受け、修了に必要な30単位を2年間にわたり計画的に修得するとともに、学位論文（または「教育実践特別研究」）を作成する。

< 教職実践専攻 >

修了年限2年のうち1年間のみ現職を離れることができる場合は、第1年次は現職を離れて通常の間帯の通学履修をし、課程修了に必要な46単位のうち38単位をめどに修得する。第2年次においては、現職に復帰し勤務しながら、定期的または集中的に授業・研究指導を受け、課程修了に必要な残りの単位を修得する。

5. 学位授与

修士課程（学校教育専攻・教科教育専攻）については、2年以上在学し、30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文（または「教育実践特別研究」）の審査及び最終試験に合格した者には、修士の学位を授与する。

専門職学位課程については、2年以上在学し、46単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者には、専門職学位を授与する。

6. 教員免許状

小学校、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校教諭及び養護教諭1種免許状を有し又は所要資格を得ている者は、本研究科で教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得することによりそれぞれに対応する専修免許状を取得することができる。

【学校教育専攻】

専攻名	専修名	種類	教科
学校教育専攻	学校教育専修	小学校教諭専修免許状	—
		中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
		高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語

	心理・教育実践学専修	幼稚園教諭専修免許状	—
		小学校教諭専修免許状	—
		中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
		高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語
		幼稚園教諭専修免許状	—
	学校保健学専修	養護教諭専修免許状	—
		中学校教諭専修免許状	保健
		高等学校教諭専修免許状	保健

【教科教育専攻】

専攻名	専修・分野名	種類	教科
教科教育専攻	言語文化専修 国語分野	小学校教諭専修免許状	—
		中学校教諭専修免許状	国語
		高等学校教諭専修免許状	国語
		幼稚園教諭専修免許状	—
	言語文化専修 英語分野	中学校教諭専修免許状	英語
		高等学校教諭専修免許状	英語
	社会専修	小学校教諭専修免許状	—
		中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史、公民
	自然科学専修 数学分野	小学校教諭専修免許状	—
		中学校教諭専修免許状	数学
		高等学校教諭専修免許状	数学
		幼稚園教諭専修免許状	—
	自然科学専修 理科分野	小学校教諭専修免許状	—
		中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	理科
芸術専修 音楽分野	小学校教諭専修免許状	—	
	中学校教諭専修免許状	音楽	

		高等学校教諭専修免許状	音楽
		幼稚園教諭専修免許状	—
	芸術専修 美術分野	小学校教諭専修免許状	—
		中学校教諭専修免許状	美術
		高等学校教諭専修免許状	美術
		幼稚園教諭専修免許状	—
		小学校教諭専修免許状	—
	身体文化専修 保健体育分野	中学校教諭専修免許状	保健体育
		高等学校教諭専修免許状	保健体育
		幼稚園教諭専修免許状	—
		小学校教諭専修免許状	—
	生活創造専修 技術分野	中学校教諭専修免許状	技術
		小学校教諭専修免許状	—
生活創造専修 家庭分野	中学校教諭専修免許状	家庭	
	高等学校教諭専修免許状	家庭	
	小学校教諭専修免許状	—	

【教職実践専攻】

専攻名	コース名	種類	教科
教職実践専攻	教育実践力高度化 コース	小学校教諭専修免許状	—
		中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、 音楽、美術、保健体育、保健・ 技術、家庭、英語
		高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、 数学、理科、音楽、美術、 工芸、書道、保健体育、保健、 看護、家庭、情報、農業、 工業、商業、福祉、英語
	発達臨床支援高度化 コース	小学校教諭専修免許状	—
		中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、 音楽、美術、保健体育、保健・ 技術、家庭、英語
		高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、 数学、理科、音楽、美術、 工芸、書道、保健体育、保健、 看護、家庭、情報、農業、 工業、商業、福祉、英語
		特別支援学校教諭 専修免許状	知的障害者 肢体不自由者 病弱者

7. 授業科目一覧

※ 平成30年度の授業科目は確定していないので、平成29年5月現在開講予定の科目を掲載した。

なお、左に◎印のついた担当教員は平成30年3月に、○印のついた担当教員は平成31年3月に定年退職予定の教員である。

学校教育専攻

学校教育専修（教育学分野）

学校教育基礎論

学校教育専攻教員

Fundamental Lecture on School Education

教育学分野及び幼児教育分野にかかわる基本問題について講義を行う。なお、学校や幼稚園・保育所等の現場に赴き、見学や討議を行うフィールドワークを適宜織り込み、実践と理論の往還がなされるようにしていく。

教育経営学演習A（教育改革の動向）

高橋 哲 准教授

Seminar on School Administration

日本における教育改革が世界に対してどのように伝えられたのか？これを英文ジャーナルを通して検討する。戦後教育改革における教育法制の仕組みと法原理、およびその後の法制改革について概説する。

教育経営学特論B（社会の変化と学校改革）

北田 佳子 准教授

Lecture on School Reform and Teacher Education

学校改革をめぐる国内・海外の理論や事例に関する文献を講読し、変化する社会のなかで、子どもと教師双方の学びを保障する学校組織の在り方や学校改革の動向について検討する。

教育経営学演習B（教師教育と教師の職能成長）

北田 佳子 准教授

Seminar on School Reform and Teacher Education

教師教育制度や教師の職能成長に関する国内・海外の先行研究を検討し、各受講者の興味関心にもとづく視点から研究報告を行い、それについて討論を行う。

教育社会学特論

福島 賢二 准教授

Lecture on the Sociology of Education

現代日本の教育の諸問題について、社会学的な視点から考察する。今年度は「エビデンス (evidence)」あるいは「ネオリベラリズム (Neo Liberalism)」という概念に関わる文献・論文を検討する予定である。

教育社会学演習

福島 賢二 准教授

Seminar on the Sociology of Education

社会問題を社会学的に分析した文献・論文を検討することで、教育の規定要因を理解しつつ、「教育」概念を再定義する。今年度は、「自由」あるいは「民主主義」という概念に関わる文献・論文を検討する予定である。

日本教育史特論 A

山田 恵吾 准教授

Lecture on the History of the Education in Japan A

近世教育と近代教育の連続・非連続の観点から、現代の学校教育の問題を検討する。教育史の文献講読を通じて、学習観、こども観、家族観などの変容をテーマに討論を行う。

日本教育史演習A

山田 恵吾 准教授

Seminar on the History of the Education in Japan A

近代日本の教育を人物史の観点から考察する。受講者の報告とその検討を通じて、人物史の特徴や課題、史料の読み方など、研究方法についても考察する。

日本教育史特論B（教育とジェンダー研究）

田代 美江子 教授

Lecture on the Education and Gender Studies

近現代日本の教育をジェンダー・セクシュアリティ平等の視点から検討する。

日本教育史演習B（セクシュアリティ教育研究）

田代 美江子 教授

Seminar on the Sexuality Education

ジェンダー・セクシュアリティ平等に関する最新の研究動向をおさえながら、近現代日本におけるセクシュアリティ教育の課題について議論を深める。

社会教育学特論A

安藤 聡彦 教授

Lecture on the Study of Adult/Community Education A

子ども-自然-政治の関係を「エコロジカル・シティズンシップ」（ecological citizenship）という概念を手がかりに検討し、環境教育研究の課題を考察する。

社会教育学演習A

安藤 聡彦 教授

Seminar on the Study of Adult/Community Education A

「ノンフォーマル教育」研究に関する国内外の論文を検討し、社会教育研究の課題を考察する。

社会教育学特論B（いのちと福祉の教育論）

川元 克秀 准教授

Lecture on Adult Education B

現代の学校現場に於いて、教師が子どもの固有性を勘案し的確な教育実践を進めるには、それぞれの子どもが持つ背景や環境へ十分に配慮し、子どもへの関わり方を選択・実践していくことが求められます。本科目は、このような学校現場の現代的な教育課題を前提に、学校現場にさまざまに持ち込まれる子どもの「生活の背景」に注目する教育実践観点に着眼し、子どもの福祉を重視した背景分析能力の醸成を目標とします。

社会教育学演習B（文化・信仰と生成の教育）

川元 克秀 准教授

Seminar on Adult Education B

社会経済構造の子どもへの影響は、物理的・直接的なものもあれば、劣等感など心理的・間接的なものもあり、「見えない」ものばかりではなく、「見えていたとしても、その通りではない」こともままあります。本科目では、このような現実を切り口として、学校に於いて教師には子どもがどのように「見えやすい」のか、教師から見えないところで子どもに起きている現実にはどのようなものがあるのかを、とりわけ、家庭の文化・信仰に着眼し、教育人間学の学術見地から『子ども全体』への接近に向けた実践判断力の形成を目指します。『発達としての教育』を超脱した先にある『生成としての教育』への思索が、本科目の基礎となります。とりわけJ・トリムソンの「文化帝国主義」を文献の手掛かりとして検討を深めます。

学校教育専修（幼児教育分野）

学校教育基礎論

学校教育専攻教員

Fundamental Lecture on School Education

教育学分野及び幼児教育分野にかかわる基本問題について講義を行う。なお、学校や幼稚園・保育所等の現場に赴き、見学や討議を行うフィールドワークを適宜織り込み、実践と理論の往還がなされるようにしていきたい。

幼児教育学特論

小田倉 泉 准教授

Special Lecture on Infant Education

幼児教育思想の歴史的展開を追いながら、今日の幼児教育を巡る諸問題における幼児教育学的課題について検討を行う。

幼児教育学演習

小田倉 泉 准教授

Seminar on Infant Education

幼児教育における「質」保障の問題について、内外の文献を講読しながら検討する。特に保育者論及び「乳幼児の権利」を中心に討議を進める。

保育内容特論

三橋 さゆり 准教授

Infant Music

幼児の音楽的な発達や音楽教育に関連する文献を講読し、子どもの表現とそれに関する教育について理解を深める。

保育内容演習

三橋 さゆり 准教授

Seminar on Infant Music Education

乳幼児の音楽表現について文献を講読しながら学び、幼稚園教育要領、保育所保育指針の内容とのかかわりについて考察しながら討議を行う。

幼児心理学特論

首藤 敏元 教授

Psychology of Infant Development

幼児期の社会的発達について、その評価を含めて学習する。また、幼児期の社会性を幼児教育と予防教育の観点から考察する。

幼児心理学演習

首藤 敏元 教授

Seminar on Social and Emotional Development in Young Children

幼児の社会情動発達と関連する幼児教育、及び予防教育の方法に関する事例を、文献を手がかりに検討する。

幼児教育相談特論

寺菌 さおり 准教授

Educational Consultation of Infant

幼児期の子どもの健全な発育発達にかかわる教育相談に応じるため、関連する文献を購読し、討議や考察を深める中で子どもの発育や発達を支援する視点を養う。

幼児教育相談演習

寺菌 さおり 准教授

Seminar on Educational Consultation of Infant

幼児の健全な発育発達を妨げる諸問題に関して家庭や幼児教育機関から寄せられる固有の問題について、文献や討議などを通して明らかにしつつ、多角的に心身の健康問題にアプローチできる方法について探求する。

心理・教育実践学専修（心理学分野）

社会心理学特論 坂西 友秀 教授
Lecture on the Social Psychology

学校教育について、特に教育・社会心理学の外国雑誌の論文を講読し、内容について討論を行う。

社会心理学演習 坂西 友秀 教授
Seminar on the Social Psychology

教育をめぐる問題、学校における教師と子どもの人間関係を中心テーマにとりあげる。受講者自身の発表と文献講読に基づいて討論を行う。

教育評価特論 萩生田 伸子 准教授
Educational Evaluation

パーソナリティ検査や知能検査等の各種心理検査、教育評価と教育測定の基本理論の学習および実習を通じて心理教育的アセスメントに関する理解を深める。

教育評価演習 萩生田 伸子 准教授
Seminar on Educational Evaluation

教育測定、テスト理論、パーソナリティの測定、多変量解析などに関する文献の講読および受講者の発表、討論をおこなう。

教授学習心理学特論 馬場 久志 教授
Learning and Instruction

学校での学びと生活、発達に関する諸問題への認識を深めるために、心理学論文・資料への検討を加える。指定された論文や各自の選んだ論文・資料のみならず、参加者自身の研究の検討も歓迎する。

教授学習心理学演習 馬場 久志 教授
Seminar on Learning and Instruction

学校での学びと生活、発達に関する諸問題への認識を深めるために、心理学論文・資料への検討を加える。各自の持ち寄った論文・資料のみならず、参加者自身の研究の検討も歓迎する。

発達心理学演習 清水 由紀 准教授
Seminar on Cognitive Development

“Developmental Psychology” “Child Development” “Developmental Review”等の国際誌に掲載されている論文を講読し、最新の方法論や知見について理解を深める。

臨床心理学特論 堀田 香織 教授
Clinical Psychology

学校の外の不登校児童生徒たち、母子家庭の現状と支援、家庭裁判所の離婚調停と子どもたち、虐待事例における児童相談所と学校との連携、性的マイノリティ LGBT と学校、保護者対応の困難事例、スクールカウンセラーと教員の連携など、現在学校が抱えるテーマについて問題提起し討論を行う。

臨床心理基礎実習 尾崎 啓子 教授
Training of Psychological Counseling

カウンセリング、教育相談、学校コンサルテーションに関する基本的な知識・態度・技術を学ぶ。講義やロールプレイングの学習の他、実際に学校に出向いてコンサルテーションを複数回参観し、有効な学校支援のあり方について討論を行う。

心理実習

心理学分野全教員

Fieldwork in Psychology

小・中・高・特別支援学校、幼稚園・保育所、適応指導教室、フリースクール、児童養護施設等において、フィールドワークを行う。

心理学研究法特論

尾崎 啓子 教授

Research Methods in Psychology

調査法、実験法、面接法など、心理学における様々な研究法について学び、理解を深める。講義、文献購読、受講者による発表、討論を行う。

家族心理学特論

堀田 香織 教授

Family Psychology

家族療法の実際をビデオを見ながら討議し、子どもの問題と家族の成長について理解を深める。合わせて、家族に関する臨床心理学領域の文献を読み、子どもの問題とその家族の心理について理解を深める。

学校臨床心理学特論

椋田 容世 准教授

Lecture on School Clinical Psychology

学校臨床の特性を理解し、学校コミュニティや、児童・生徒、保護者、教師への学校臨床心理学的援助について学ぶ。さらに学校が抱える事例をもとに、その実際について検討する。講義、文献購読、受講者による発表、討論を行う。

心理・教育実践学専修（教育実践学分野）

臨床授業構成演習

磯田 三津子准教授

Seminar on Design of Classroom Teaching

具体的な教材を選択し、授業を構成する。教師の発問や指示といった教授行為の理論に基づきながら授業実践を分析し検討する。

教育臨床学特論

岩川 直樹 教授

Lecture on Clinical Study of Education

教室での子どもの学びや、学校の教師間の研究、あるいは、学校間の研究の場を、従来の伝達 — 普及型の場からワークショップの場にしていくスタンスから、教育の諸問題について考える。

教育臨床学演習

岩川 直樹 教授

Seminar on Clinical Study of Education

これまでのカリキュラムには納まりきらなかった領域横断的なテーマに関して、参加者とともに新たなカリキュラムにかかわる発想を考えていきたい。

臨床授業研究特論

野村 泰朗 准教授

Lecture for Clinical Study on Lesson Study

現在の教育が抱える多様な問題に対して、教職に関わる実践者と研究者が共に取り組む必要がある。そこで教育に関わる知識（教育内容、実践事例等）や技術（教育方法、教授スキル）の蓄積、共有が不可欠である。「教師の教育活動」を対象化する手法として、教育工学的アプローチを取り挙げ、特に以下の2点について、フィールドワークも交えながらそれらの研究手法の習得を目指す。①児童生徒や教師の活動を認知過程に着目した情報処理モデル等のモデルにもとづいて理解しようとする教授・学習活動の記述方法②Instructional Design 原理やゲーミング手法などの新しいモデルにもとづく教師と学習者のコミュニケーション過程の分析手法。

臨床授業研究演習

野村 泰朗 准教授

Seminar for Clinical Study on Lesson Study

コンピュータをはじめとする情報機器等も「道具」として活用しながら、教授学習過程の分析手法や、教育実践研究としての研究計画立案から実験・評価までの手法の習得を目指す。また、ICTを活用したフィールドワークや質的統計分析をはじめとする新しいデータ収集方法や分析手法についても扱う。

総合学習開発演習

宇佐見 香代 教授

Seminar on Development of Integrated Learning

生活科・総合学習に関する理論及び実際について検討、考察を行う。さらに、受講生が提示する課題を元に討論を行う。

臨床生徒指導特論

船橋 一男 教授

Special Lecture for Clinical Study on Guidance

現代日本社会の経済・産業構造の変動と「新自由主義」による再編が、子ども・若者の育ちにいかなる変化をもたらし、「現場」で何が課題化されつつあるのか。生活指導の観点から検討する。

臨床生徒指導演習

船橋 一男 教授

Seminar for Clinical Study on Guidance

生活指導にかかわる内外の諸理論について、受講生の関心に応じて検討する。

学校保健学専修

<学校保健総合領域>

学校保健学特論

学校保健学専修全教員

School Health

学校保健の多様な学問分野の視点から、児童生徒の健康課題の解決に迫るための研究課題を探求し、研究発表を経験する。

学校保健フィールドスタディ特論A

学校保健学専修全教員

School Health Field Study A

学校における教育実践研究および学術研究活動の企画、実施、資料の分析、研究成果のまとめ等を通して、学校保健研究に関する研究の方法とその実際、研究成果のまとめ方について体験的に学ぶ。

学校保健フィールドスタディ特論B

学校保健学専修全教員

School Health Field Study B

学校における教育実践研究の計画、実施、評価等を通して、学校保健活動に関する教育実践研究の方法とその実際について学ぶ。

学校保健実践高度化特論A

学校保健学専修全教員

School Health Practice High A

学校現場における保健管理に関する種々の活動の中から受講生がテーマを選び、担当教員の指導を受けつつ学校保健活動の高度化に取り組むことによって、質の高い教育実践力を養う。

学校保健実践高度化特論B

学校保健学専修全教員

School Health Practice High B

学校現場における個別・集団の保健教育の中から受講生がテーマを選び、担当教員の指導を受けつつ保健教育に関する実践力の高度化に取り組むことによって、質の高い教育実践力を養う。

<学校保健専門領域>

健康教育学特論

戸部 秀之 教授

Health Education

健康教育、行動科学の基本的文献及び学校保健に関する学術論文等の講読、議論を通して、各分野の重要概念および論文の構成等を理解する。また健康教育学、学校保健学におけるエビデンスを形成する方法論について基本的知識と技術を得る。

健康教育学演習

戸部 秀之 教授

Seminar on Health Education

健康教育、行動科学の基本的文献及び学校保健に関する学術論文の講読と演習、議論を通して、各分野の重要概念のより深い理解と研究のまとめ方について身につける。また、健康教育学、学校保健学におけるエビデンスを形成する方法論について演習を通して学ぶ。

保健教育学特論

七木田 文彦 准教授

School Health Education

近代化とともに「健康」や「身体」のとらえ方がどのように変化したか、そして「健康」や「身体」の見方は人々にどのように提供されたのか（特に学校教育によって「健康」はどのように扱われてきたか）、また、「健康」のとらえ方が変化した背景には、どのような社会構造の変化がみられたのかについて基本文献の講読を行いながら理解を深める。

保健教育学演習

七木田 文彦 准教授

Seminar on School Health Education

学校健康教育の実践研究として、保健教育を中心とした授業実践分析を行う。授業の様々なとらえ方について基本的文献の講読を行ったうえで、実際の授業（VTRを含む）を観察し、学びの生成と教師の力量形成について検討する。

養護教育学特論

中下 富子 教授

Yogo Teacher

文献の研究手法について理解を深め、研究方法の視点から自身の研究テーマや、養護教諭等に関連する文献を購読する。

養護教育学演習

中下 富子 教授

Seminar on Yogo Teacher

質的帰納的分析の方法について理解を深め、自身や養護教諭、養護実践等に関連するテーマをあげて、実際に質的帰納的に分析を行う。

保健管理学特論

関 由起子 准教授

Health Management

学校現場における保健・医療上の様々な問題を、実践例から講義、そして議論し、適切な対策について検討する。

保健管理学演習

関 由起子 准教授

Seminar on Health Management

学校現場での様々な事故事例について、事故事例分析手法を学びながら分析し、事故の発生要因や対策のあり方について議論する。

教科教育専攻 言語文化専修（国語分野）

<総合領域>

国語教育基礎論 薄井 俊二 教授
Elements of Mother-Tongue Japanese Teaching
国語教育に関わる基礎的な学習と、教育現場でのフィールドワークを行う。

<教科教育領域>

国語教育学特論A（国語教育史研究本質論）
国語教育学特論B（国語教育史研究本質論） 本橋 幸康 准教授
Lecture on Mother-Tongue Japanese Teaching A, B
主に単元学習論や教科書研究を中心に国語教育研究の史的考察を行う。

国語教育学演習A（国語教育史研究各論） 本橋 幸康 准教授
Seminar in Mother-Tongue Japanese Teaching A
主に地域教育課程や学力調査の資料をもとに国語学力論の史的考察を行う。

国語教育学特論C（国語教育研究本質論）
国語教育学特論D（国語教育研究本質論） 戸田 功 教授
Lecture on Mother-Tongue Japanese Teaching C, D
国語教育に関する研究の本質について講義する。特に言語理論や教育理論の検討を通して、国語教育研究の本質について理論的に考察する。

国語教育学演習B（国語教育研究方法論） 戸田 功 教授
Seminar in Mother-Tongue Japanese Teaching B
国語教育に関する研究方法について演習する。特に具体的な国語教育上の問題に即して、国語教育研究を成立させるための方法がどのように設定され得るのかを、多角的に検討することによって、実践的に考察する。

<教科専門領域>

国語学特論 池上 尚 准教授
Lecture on Japanese Language
日本語研究に必要な資料の一つであるコーパス、特に『現代日本語書き言葉均衡コーパス』『日本語歴史コーパス』の構造についての理解を深める。また、日本語研究に必要な基礎的なコンピュータの技術を習得する。

国語学演習 池上 尚 准教授
Seminar in Japanese Language
コーパスと統計的手法を活用した実際の研究例の再現・検証を通して、コーパスの適切な利用方法を理解する。また、既存のコーパスだけでなく、独自のコーパスを構築・活用しながら、数値的実証に基づく日本語研究を実践する。

古代文学特論 飯泉 健司 教授
Seminar in Classical Japanese Literature
主として古風土記伝承について、背景・成立・伝承過程・主題等、幅広い面から見ていき、併せて古代文学の特性を考察する。

古代文学演習 飯泉 健司 教授
Seminar in Classical Japanese Literature
主として古代文学について、背景・成立・伝承過程・主題等、幅広い面から見ていき、併せて古代文学の特性を考察する。

近代文学特論

山本 良 准教授

Lecture on Modern Japanese Literature

明治～昭和期における日本近代文学の特質について考察する。

近代文学演習

山本 良 准教授

Seminar in Modern Japanese Literature

日本近代文学研究と文学教育の関連について考察する。芥川龍之介や宮沢賢治などを取りあげる。

漢文学特論

薄井 俊二 教授

Lecture on Classical Chinese Literature

漢文を学ぶ上での基礎的な学習と、作品講読を行う。

漢文学演習

薄井 俊二 教授

Seminar in Classical Chinese Literature

中国古典文学作品を講読することを通して、中国文化の理解を深める。

言語文化専修（英語分野）

<総合領域>

英語教育基礎論

牛江 一裕 教授

Fundamentals of English Education

言語獲得と英語教育との関係について考察する。

<教科教育領域>

英語教育学特論A（英語教育研究方法論）

及川 賢 准教授

Lecture in Teaching of English as a Foreign Language A

リサーチデザインについて学び、具体的なリサーチ計画作成につなげる。

英語教育学特論B（英語教育研究方法論）

及川 賢 准教授

Lecture in Teaching of English as a Foreign Language B

言語習得及び言語教育について講ずる。言語文化専修生（英語分野）以外は、履修登録前に必ず担当教員に連絡すること。

英語教育学演習C

及川 賢 准教授

Seminar in Teaching of English as a Foreign Language C

英語教育関係の論文を読み、討論を行う。1講義につき2～3本の論文を扱い、英語教育研究における方法論についても論議する。トピックは英語教育の下位分野から広く取り上げる予定であるが、具体的には参加者との話し合いの上で選定したい。

成績：テスト・レポート・平常点

コメント：休まず出席し、積極的に授業に貢献できる学生の参加を希望する。

英語教育学演習D

及川 賢 准教授

Seminar in Teaching of English as a Foreign Language D

英語教育関係の論文を読み、討論を行う。1講義につき2～3本の論文を扱い、英語教育研究における方法論についても論議する。トピックは英語教育の下位分野から広く取り上げる予定であるが、具体的には参加者との話し合いの上で選定したい。

成績：テスト・レポート・平常点

コメント：休まず出席し、積極的に授業に貢献できる学生の参加を希望する。

<教科専門領域>

英語学特論A

牛江 一裕 教授

Topics in English Linguistics A

現代英語の構文をいくつか取り上げ、これまで提案されてきている分析を詳しく検討し、その理論的・経験的問題点を考察する。

英語学演習A

田子内 健介 准教授

Seminar in English Linguistics A

英語の統語論・意味論について書かれた文献を読み、データや分析法について詳しく検討する。

英米文学特論A

武田 ちあき 准教授

Topics in English Literature A

現代イギリスの教育現場を描いた作品を読解し、20世紀英国の教育事情と文学表現を考察する。テキストを精読するので綿密な予習を要求する。

社会専修

<総合領域>

社会科教育基礎論

大友 秀明 教授

Integrated Study of Social Studies Education

社会科教育研究の基礎的内容と方法について学ぶ。その際、現場体験・フィールドワークも行う。

<教科教育領域>

社会科教育学特論A I (授業論)

桐谷 正信 教授

Special Study in Social Studies Education AI

内外の社会科教育の文献・論文の講読を通して、社会科のカリキュラム論、授業論について研究する。

社会科教育学特論A II (授業論)

桐谷 正信 教授

Special Study in Social Studies Education AII

社会科の著名な実践家の実践を分析し、総合学習を視野に含めた新たな社会科授業の在り方について考察する。

社会科教育学演習A

社会科教育学演習B

桐谷 正信 教授

Seminar in Social Studies Education A, B

現代の社会科教育の諸問題について、内外の論文・文献の講読を通して探求する。

社会科教育学特論B I (教材論)

大友 秀明 教授

Special Study in Social Studies Education BI

社会科の授業研究の方法論について論及する。

社会科教育学特論B II

大友 秀明 教授

Special Study in Social Studies Education BII

授業記録に基づき社会科の授業を分析する。

社会科教育学演習C

大友 秀明 教授

社会科教育学演習D

Seminar in Social Studies Education C, D

社会の変化に対応する社会科のあり方を、内外の文献から考える。

<教科専門領域>

地理学特論A

谷 謙二 准教授

Special Study in Geography A

地理情報システムの活用方法について検討する。

地理学演習A

谷 謙二 准教授

Lecture in Geography A

人文地理学に関する文献を講読し、そこに含まれる課題を検討する。

地理学演習B

谷 謙二 准教授

Lecture in Geography B

人文地理学に関する文献を講読し、そこに含まれる課題を検討する。

地理学特論B

田村 均 教授

Special Study in Geography B

領域横断的なテーマとしてフィールドワーク論をとりあげ、実地にフィールドワークを行いながら、参加者と

ともに検討する。

地理学演習 C

Lecture in Geography C

田村 均 教授

領域横断的なテーマとしてフィールドワーク論をとりあげ、実地にフィールドワークを行いながら、参加者とともに検討する。

地理学演習 D

Lecture in Geography D

田村 均 教授

領域横断的なテーマとしてフィールドワーク論をとりあげ、実地にフィールドワークを行いながら、参加者とともに検討する。

日本史学特論

Special Study in Japanese History

清水 亮 准教授

日本史学の最新動向について、年度ごとにテーマを設定し、論文を講読する。また、履修者と協議の上、各人の研究報告を行うこともある。

日本史学演習 A (日本前近代史料研究)

日本史学演習 B (日本前近代史料研究)

Lecture in Japanese History A, B

清水 亮 准教授

日本前近代の重要史料を輪読し、史料解釈の方法と時代の特徴を把握する。また、履修者と協議の上、各人の研究報告を行うこともある。

外国史特論

Special Study in Foreign History

小林 聡 教授

日本も含めた東アジア世界をどのようにとらえ、研究していくべきなのかを、様々な材料を基に考えていく。

外国史演習 A (史籍講読・演習)

Lecture in Foreign History A

小林 聡 教授

東アジア前近代の重要史料の講読を行い、そこにみられる政治・社会の特質を検討する。

外国史演習 B (史籍講読・演習)

Lecture in Foreign History B

小林 聡 教授

東アジア前近代の重要史料の講読を行い、そこにみられる政治・社会の特質を検討する。

法律学特論

Special Studies on Law

中川 律 准教授

憲法学の発展的な学習のために、主に学術論文を題材に検討を加える。

法律学演習 A

Seminar on Law A,

中川 律 准教授

憲法学の内外の文献を講読し、憲法学の視点から社会的な事象を分析する。

社会学特論

Special Study in Sociology

高橋 雅也 准教授

日本の地域社会の現状について諸外国を参照しながら理解することを目的として、地域づくりの課題と取り組みを事例に即して論じる。

社会学演習 A

Seminar in Sociology A

高橋 雅也 准教授

現代の社会変動、とりわけ社会の流動性や再帰性の高まりに対する理解を深めることを目的として、関連文献

を講読し、検討を加える。

社会学演習 B

高橋 雅也 准教授

Seminar in Sociology B

現代の社会変動、とりわけ社会の流動性や再帰性の高まりに対する理解を深めることを目的として、関連文献を講読し、検討を加える。

倫理学特論

宮崎 文典 准教授

Special Study in Ethics

規範倫理学にかかわる古典的文献を講読し、併せて当該文献にかんする近年の研究文献を参照することにより、その課題と意義を検討する。

倫理学演習 A

宮崎 文典 准教授

Seminar in Ethics A

規範倫理学にかかわる近年の重要文献を講読し、規範倫理学の近年の動向を把握しつつ、その課題と意義を検討する。

自然科学専修（数学分野）

<総合領域>

数学教育基礎論

道工 勇 教授

Integrated Study of Mathematics Education

数学教育研究に関する基礎的内容および方法論について学ぶ。

特に教育統計の理論と実践に重点をおき、併せてフィールドワークを行う。

<教科教育領域>

数学教育学特論A

二宮 裕之 教授

Advanced Mathematics Education A

数学教育学の最近の研究から、様々な文献を取り上げ検討する。

数学教育学演習A

二宮 裕之 教授

Seminar on Advanced Mathematics Education A

最近の数学教育研究の動向から特に特徴的なもの、また、特に表現活動や評価に関わる文献を取り上げ、検討を行うと共に、研究能力の開発をはかる。

数学教育学特論B

松寄 昭雄 准教授

Advanced Mathematics Education B

数学教育学の最近の研究から、様々な文献を取り上げ検討する。

数学教育学演習B

松寄 昭雄 准教授

Seminar on Advanced Mathematics Education B

最近の数学教育研究の動向から特に特徴的なもの、また、特に問題解決に関わる文献を取り上げ、検討を行うと共に、研究能力の開発をはかる。

<教科専門領域>

代数学特論

飛田 明彦 教授

Advanced Algebra

群、環、体等の代数的構造の基礎理論について考察し、様々な対象との関わりから解説を行う。

代数学演習

飛田 明彦 教授

Seminar on Advanced Algebra

群、環、体等の代数的構造について、整数論や組み合わせ論などに関連した具体例を題材として、演習活動を行う。

数理科学特論（確率過程論）

道工 勇 教授

Mathematical Science

確率過程論を講義し、情報理論・数理物理学・集団遺伝学・拡散現象等の広範な確率過程の応用分野から具体例を拾い、確率論的な物の見方が如何に応用されているか理解を深め、その背後にある数学的思想性、特に、公理主義抽象性、論理性及び歴史的主体性について考察する。

数理科学演習（確率過程論）

道工 勇 教授

Seminar on Mathematical Science

確率過程論について学生の演習や研究発表を指導する。

自然科学専修（理科分野）

<総合分野>

理科教育基礎論 中島 雅子 准教授、小倉 康 准教授 他

Integrated Study of Science Education

理科教育研究の基礎的内容と方法について、フィールドワークを行う事などにより学ぶ。

<教科教育分野>

理科教育学特論A 中島 雅子 准教授

Advanced Science Education A

理科の教授学習の諸側面について、史的観点や国内外の最近の研究動向から考察する。

理科教育学演習A 中島 雅子 准教授

Exercise in Advanced Science Education A

理科の教授学習の諸側面について、演習を通して実践的理解を深める

理科教育学特論B 小倉 康 准教授

Advanced Science Education B

理科カリキュラムの諸側面について、史的観点や国内外の最近の研究動向から考察する。

理科教育学演習B 小倉 康 准教授

Exercise in Advanced Science Education B

理科カリキュラムの諸側面について、演習を通して実践的理解を深める。

<教科専門分野>

物理学特論A(物性物理学) 近藤 一史 教授

Advanced Physics A

固体を中心とした物性物理学の基礎的な考え方を解説する。

物理学特論B(物性物理学) 大向 隆三 准教授

Advanced Physics B

相対論について解説する。

物理学演習 近藤 一史 教授

Exercise in Advanced Physics

物性物理学の理解に不可欠と思われる典型的な演習問題や原著論文・英文テキストの講読を行う。

物理学実験 大向 隆三 准教授

Experiments in Advanced Physics

物性測定にかかわる実験を行うための装置を工夫し、実験を行う。

化学特論A 松岡 圭介 准教授

Advanced Chemistry A

物理化学の内容を中心に論ずる。

化学演習A 松岡 圭介 准教授

Exercises in Advanced Chemistry A

物理化学についてその理解を深めるため、演習を行う。

- 化学特論B(有機化学) 富岡 寛顕 教授
Advanced Chemistry B
生体物質の化学的性質を中心に論ずる。
- 化学演習B(生物化学) 富岡 寛顕 教授
Exercises in Advanced Chemistry B
生物化学についてその理解を深めるため、演習を行う。
- 生物学特論(植物学) 金子 康子 教授
Advanced Biology (Botany)
植物の細胞内微細構造形成と機能発現について様々な顕微鏡観察手法とともに考察する。
- 生物学実験A(植物学) 金子 康子 教授
Experiment in Biology A (Botany)
植物の生活環、細胞分化、形態形成過程、また環境との関わりの中で見られる微細構造変化を様々な顕微鏡を用いて観察する。
- 生物学実験B(動物学) 日比野 拓 准教授
Experiments in Biology B (Zoology)
海産動物の多様性について理解を深めるために、臨海実験所において観察実験を行う。
- 生物学演習(動物学) 日比野 拓 准教授
Seminar in Biology (Zoology)
バイオインフォマティクスの基礎を学び、遺伝子予測や系統解析の方法を修得する。
- 地学特論A(天文学) 大朝 由美子 准教授
Advanced Earth Sciences A (Astronomy)
天文学の英文テキストを講読し、太陽系外惑星や星惑星形成過程について理解を深める。
- 地学特論B(全地球史) 岡本 和明 教授
Advanced Earth Sciences B (Whole Earth History)
生命と地球の共進化を論じる。また、生命地球進化の証拠となる野外地質露頭を観察する。
- 地学演習A(地球科学) 岡本 和明 教授
Experiments in Earth Sciences
大陸縁に位置する日本列島では、海洋プレートの沈み込みに伴う様々な地学現象が起っている(地震火山、大陸成長)。関東地方および伊豆・房総半島の地層観察、室内実験を行う。
- 地学演習B(天文学) 大朝 由美子 准教授
Experiments in Earth Sciences B(Astronomy)
太陽系外惑星や褐色矮星、星惑星形成と進化について理解を深めるための観測実習や演習を行う。

芸術専修（音楽分野）

<総合領域>

音楽教育基礎論

音楽分野全教員

Synthetic Subject (An Essay on the Musical Education)

資料検索や文章作成法、文献読解等の学習、フィールドワーク等を通じて、音楽研究の基礎を習得する。

<教科教育領域>

音楽教育学特論B

伊藤 誠 教授

Lecture in Music Education B

(1) 中等科音楽の指導内容、学習指導計画、音楽学習の評価などを学ぶ。(2) ヴァイオリン奏法研究を通して、弦楽器の特性を生かした教材のあり方、指導の順序性、音楽表現の工夫等について実習し、器楽指導の意義について考える。

音楽教育学演習B

伊藤 誠 教授

Seminar in Music Education B

小学校および中学校の音楽教科書と指導書から、教材・学習内容・指導過程、頁のレイアウトなどについて、表計算ソフトを活用しながら分析・考察を行う。この作業の成果を「レポート」という具体的な形にまとめる。

<教科専門領域>

鍵盤楽器演習B

蛭多 令子 教授

Keyboard Seminar B

主に近代・現代のピアノ独奏曲の解釈を行い、演奏法を習得する。
ピアノ連弾、2台ピアノデュオ、声楽及び器楽の伴奏も併せて研究する。

声楽演習A

小野 和彦 准教授

Seminar in Vocal Music A

生理学上普遍的、かつ汎用性を持つ発声法を、その実践を中心に探究する。合わせて文献研究も行い、その来歴を考察する。研究の具体的な対象は、学生の興味と適性に応じる。

声楽演習B

小野 和彦 准教授

Seminar in Vocal Music B

生理学上普遍的、かつ汎用性を持つ発音法の探究を深める。同時に、さまざまな声楽作品に触れ、その演奏の実際を学ぶ。

作曲学特論A(楽曲分析論)

鈴木 静哉 教授

Lecture of CompositionA (Analysis in Music)

近・現代の音楽における各種の主義について、作曲技法を中心に論述する。履修学生の要望を聞き、内容を変更することもある。

作曲学特論B(楽曲分析論)

鈴木 静哉 教授

Lecture of CompositionB (Analysis in Music)

作曲学特論Aで扱わなかった、近・現代の作曲技法について論述する。履修学生の要望を聞き、内容を変更することもある。

指揮法特論(指揮理論と解釈)

竹澤 栄祐 教授

Lecture of Conducting (Theory of Conducting and Interpretation)

指揮法の基礎から応用までを、指揮を必要とする楽曲の解釈法も含めて、実践を交えながら演習、研究する。

木管楽器演習（フルートの演奏法と解釈）

竹澤 栄祐 教 授

Seminar in the Wood-Wind Instruments (Interpretation and Playing of Flute)

木管楽器のなかのフルートを対象とし、個人指導の形態で演奏法を習得し、楽曲分析を行う。

芸術専修（美術分野）

<総合領域>

美術教育基礎論

美術分野全教員

Lecture on Fundamental Theory of Art Education

人類が創造して来た諸造形物は、人間の心や社会をその空間の内に映し出していること、更に、今日の造形は、生活の有用性と美学とを統合し、人間の感性と行動に重要な影響を与えてきていることなどを研究する。随時「フィールドワーク」も行うこととする。

<教科教育領域>

美術教育学特論A I

池内 慈朗 教授

Special Lecture in Art Education AI

造形活動における「美的創造的思考」について考察する。

美術教育学特論A II

池内 慈朗 教授

Special Lecture in Art Education AII

美術造形教育における研究方法論について考察する。

美術教育学演習A

池内 慈朗 教授

Seminar in Art Education A

造形活動における「見る力」の育成を中心にした題材の開発に取り組む。

美術教育学特論B I

内田 裕子 准教授

Special Lecture in Art Education BI

現在行われている美術科教育の目的・内容・方法を知り、適合性を考察する。

美術教育学特論B II

内田 裕子 准教授

Special Lecture in Art Education BII

美術史の流れを理解し、美術史における「美」、「術」、「人」のあり方を理解した上で、美術教育の意義を理解する。

美術教育学演習B

内田 裕子 准教授

Seminar in Art Education B

美術教育に関して各自が読んだ本の書評を作成し、授業で発表することにより、他者の感想・意見・疑問等を聞きながら、自らの文書の理解の仕方や批評の視点の持ち方を省察する。

<教科専門領域>

絵画教育演習A(油彩)

小澤 基弘 教授

Painting Education Seminar A

学校教育における絵画教育について、制作および理論・教育的実践の多角的な視点からアプローチしていく。

絵画教育演習B(油彩)

吉岡 正人 教授

Painting Education Seminar B

絵画実技を理論的に実践する意味を、教育的視点を踏まえて考察していく。

彫刻教育演習A

石上 城行 准教授

Sculpture Education Seminar A

可塑性による原形の制作を通じて彫刻表現に対する理解を深めるとともに、その教育的意義について考察する。

彫刻教育演習B

石上 城行 准教授

Sculpture Education Seminar B

ブロンズなどの実在による制作を通じて現代の芸術表現における彫刻の可能性について検証するとともに、その教育的意義について考察する。

デザイン教育演習A(視覚デザイン)

高須賀 昌志 教授

Visual Communication Design Education Seminar A

視覚伝達デザインをコミュニケーションの観点から考察するとともに、その教育的意義を考える。

デザイン教育演習B(空間デザイン)

高須賀 昌志 教授

Design Education Seminar B

空間デザインや環境芸術の社会的機能について考察するとともに、その教育的意義を考える。

工芸教育演習A

横尾 哲生 教授

Craft Education Seminar A

現代社会における工芸の、多様な世界を見、自らの工芸観の成立を計るとともに、その教育的意義を考える。

工芸教育演習B(木工芸)

横尾 哲生 教授

Craft Education Seminar B

木工芸の文化史的背景と“もの”のあり方を地域社会の状況を考慮に入れ、考察するとともに、その教育的意義を考える。

造形芸術学特論

池内 慈朗 教授

Special Lecture in Visual Art

人の歴史とともに歩んできている芸術表現の多様性と、深遠なる観念について考察を行い、自らの美術及び教育への展開を計ることとする。

身体文化専修（保健体育分野）

<総合領域>

保健体育基礎論

松本 真 准教授

Special Lecture on the Groundwork in Health and Physical Education

教育概念を哲学的に再考することで、体育の基礎概念を考察し、学校現場でなどのフィールドワークを行い、概念の検証を行う。

<教科教育領域>

保健体育科教育学特論A

◎野田 寿美子 教授

Special Lecture on the Pedagogy of Physical Education A

体育科教育学の研究成果をカリキュラムならびに学習指導の両面から概説する。

テキスト：竹田・高橋・岡出編「体育科教育学の探求」大修館書店

保健体育科教育学特論B（保健体育科教育学）

古田 久 准教授

Special Lecture on the Pedagogy of Physical Education B

保健体育科教育学に関する海外文献の精読を通じて、日本の保健体育科教育のあり方を考える。

<教科専門領域>

体育学特論A

◎野田 寿美子 教授 ・ 松本 真 准教授

Special Lecture on Physical Education A

体育・スポーツ事象に関して、哲学・歴史学的視点から読み解く。

体育学演習A

古田 久 准教授

Seminar in Physical Education A

運動の制御・学習・発達に関する国内外の文献を取り上げ、精読を通して、その内容を検討する。

体育学特論B

細川 江利子 教授 ・ 古田 久 准教授

Special Lecture on Physical Education B

運動の制御・学習・発達の観点から身体教育を考える（古田）。舞踊文化の諸相を取り上げ、身体教育の意味について考える（細川）。

体育学演習B

松本 真 准教授

Seminar in Physical Education B

体育についての原理論を構築するための文献を取り上げ、精読を通して、その内容を検討する。

体育学演習C

細川 江利子 教授

Seminar in Physical Education C

学校における舞踊教育の理念と指導法について検討する。

体育学演習D

◎野田 寿美子 教授

Seminar in Physical Education D

幼・少年期の運動あそびやスポーツのあり方について、発育・発達の視点から検討する。

運動学特論

◎野瀬 清喜 教授 ・ 有川 秀之 教授 ・ 菊原 伸郎 准教授

Special Lecture on Kinesiology

スポーツコーチング論、スポーツトレーニング論を通して、指導実践への応用理論を論じる。

運動方法学演習 A (サッカー)

菊原 伸郎 准教授

Seminar in Methodology of Kinesiology A

講義において「サッカー」の技術・戦術行動の考え方や指導法のポイントを解説する。必要に応じて、サッカーだけでなくバドミントンや囲碁の実践を通して、スポーツの戦術行動の理解を深めていく。

運動方法学演習 B (陸上競技)

有川 秀之 教授

Seminar in Methodology of Kinesiology B

陸上競技に関するスポーツ科学、スポーツトレーニング、コーチングの文献を取り上げ、内容や問題点を検討する。

運動方法学演習 C (柔道)

◎野瀬 清喜 教授

Seminar in Methodology of Kinesiology C

我が国の伝統的武道の一つである柔道の理念について考究する。併せて、国際化した競技柔道の現状や問題点を究明するなかで、今後のあり方について検討する。

生活創造専修（技術分野）

<総合領域>

技術教育基礎論

山本 利一 教授

Technology and School Education

中等教育の各段階と関連して、基本的な技術観の育成を促すことになる、適切な指導内容の分析と総合、並びにその教材化について考察し、フィールドワークを行う。

<教科教育領域>

技術科教育学特論A（教材論）

山本 利一 教授

技術科教育学特論B（教材論）

浅田 茂裕 教授

Context on Technology and Technology Education A, B

中等技術教育の成立過程の分析と、その学校教育への貢献について論究し、人間形成にとって、青年期の技術認識の育成がどのような役割を担うかを考察する。

技術科教育学演習（指導方法論）

山本 利一 教授

Exercise in Technology Education

授業の分析法を検討して、適切な学習課程を構築するためのプロセスを見つけ出す。授業の記録・分析・評価等を学び、授業改善の具体的手段を検討する。

技術科教育実践研究（指導方法論）

浅田 茂裕 教授

Practical Study in Technology Teaching

中学校技術科指導の実践授業例についての授業を通して、授業方式の比較検討と、生徒の素朴な技術活動を素材としながら、これに技術的な価値を付与する過程を指導場面とする授業実践を論究する。

技術教育教材演習（教材論）

山本 利一 教授

Study on Teaching Materials in Technology Teaching

技術科教育における題材、教材、教具、学習内容を検討し、学習効果を高めるための支援の在り方を検討する。また、授業で利用できる教材・教具を開発し、その活用法について検討を行う。

<教科専門領域>

電気技術特論

荻窪 光慈 准教授

Advanced Electrical Engineering

電気技術の分野が、技術教育の各段階で果たす役割を論究する。さらに電気に関する現象や理論を、電気技術として展望するため、電気電子回路、電気電子部品、電気電子材料などの各種要素を考察する。

情報技術基礎論

荻窪 光慈 准教授

Information Technology

情報通信ネットワークを活用して、主体的に情報を収集し、分析し、判断し、創作し、発信する情報通信技術の活用能力を養うとともに、情報モラルや、情報機器及び情報通信ネットワークの機能に関わる科学的認識や管理運営する能力を習得することを目的とする。

機械技術特論（機械工学）

内海 能亜 准教授

Advanced Mechanical Engineering

機械技術の分野が、技術教育の各段階で果たす役割を論究する。さらに、機械に関する現象や理論を、機械技術として展開するため、力学、機械の材料、機械の要素、自動機械など各種の機械を考察する。

機構要素演習（精密機械要素）

内海 能亜 准教授

Exercise in Mechanism

機械の性能を示す仕様は、機構や構造によって表され、さらに、機械要素部品の精度を集約したものである。そのため、創意に富む機構の決定に役立つ精密な機構部品の実現の意味を検証する。

機構要素実験

内海 能重 准教授

Experiments in Mechanism

どの機械にも共通して用いられる機構部品を、精密に実現する過程を実験して、これによって機械の要素の段階から、機構総体を検討できることを確かめ、機械技術教材として活用する事例を学習する。

生産技術史特論（技術史研究）

荻窪 光慈 准教授・荒木 祐二 准教授

Historical Study in Manufacturing Technology

生産に関わる技術史の事項が、技術教育の各段階で担う役割を論究する。技術発展の前提となった技術史的事跡や史料を分析して、人類の技術文明史と、個体としてのヒトの技術獲得過程を比較考察する。

木材加工演習（木材工学研究）

浅田 茂裕 教授

Exercise in Wood Technology

木製品や木材による構造物を製作する際に基本となる加工技術についての理論、木材加工教育、ものづくり教育についての実践方法について、演習を行う。

栽培技術演習（栽培学研究）

荒木 祐二 准教授

Exercise in Cultivation

植物栽培の技術の分野が、技術教育の各段階で担う役割を考察し、栽培技術を受容する過程と青年期に適切な自然環境観を獲得させる方略を比較検討する。

生活創造専修（家庭分野）

<総合領域>

家政教育基礎論 河村 美穂 教授 ・ 亀崎 美苗 准教授

Studies in Home Economics Education

家政教育の現状と課題について小中学校でのフィールドワークや調査をもとに検討する。

<教科教育領域>

家庭科教育学特論 河村 美穂 教授

Advanced Home Economics Education

学校教育における家庭科教育の特徴と歴史的な変遷をふまえ、そのカリキュラム・目標・教育方法・内容・評価を考察し、現代の家庭科教育における課題、および今後の方向性について検討する。

家庭科教育学演習 河村 美穂 教授

Seminar in Home Economics Education

家庭科教育学特論を発展させ、生活主体を育成する教育としての問題点と課題を解明する。

家庭科教育教材演習 A 重川 純子 教授 ・ 吉川 はる奈 教授

Contents Study in Home Economics Education A 亀崎 美苗 准教授

家庭経営学、児童学、住居学に関わる教材を調査し、活用のあり方を検討し、教育場面での応用を探求する。

家庭科教育教材演習 B 川端 博子 教授 ・ 島田 玲子 准教授

Contents Study in Home Economics Education B ・ 上野 茂昭 准教授

被服学、食物学の教材を中心に、授業実践の検討を通して、教材論・教育方法論を研究する。

<教科専門領域>

家庭経営学特論 重川 純子 教授

Advanced Family Resource Management Studies

文献研究により、生活の変容・実態を捉えるとともに、個人や家族の生活経営上の課題について検討する。

家庭経営学演習 重川 純子 教授

Seminar in Family Resource Management Studies

個人や家族の生活経営上の課題の検討を踏まえ、家庭科における家庭経営学領域の教育内容を考察する。

児童学特論 吉川 はる奈 教授

Advanced Child Studies

文献研究により、現代社会における子どもの心身発達や生活の実態を把握し、社会環境との関連について検討する。

児童学演習 吉川 はる奈 教授

Seminar in Child Studies

児童学特論を発展させ、子どもとそれをとりまく環境に関する問題について、実践的研究を行い、子どもへの理解を深めるほか、自分の児童観、家族観についても模索する。

住居学特論 亀崎 美苗 准教授

Advanced Dwelling Science

文献研究により、居住生活の諸側面を概観し、生活上の課題について検討する。

住居学演習 亀崎 美苗 准教授

Seminar in Dwelling Science

住生活に関わる諸課題と住教育の可能性について検討し、家庭科における住生活領域の教育内容を考察する。

- 食物学特論
Advanced Food Science
島田 玲子 准教授
食品の調理性の観点から食物を概観し、調理・加工の持つ意味を考える。
- 食物学演習
Seminar in Food Science
島田 玲子 准教授
食物学特論の内容をもとに、食領域の教育内容を構想する。
- 食生活学特論
Advanced Dietary Life Studies
上野 茂昭 准教授
現代日本の食生活のあり方を様々な側面から概観し、ひとにとっての食の意味を考える。
- 食生活学演習
Seminar in Dietary Life Studies
上野 茂昭 准教授
現代日本の食生活の問題を把握し、家庭科における食教育の課題を探る。
- 被服学特論
Advanced Clothing Study
川端 博子 教授
衣服の快適性に関する講義をふまえ、快適な衣生活を送るための課題について考える。

(教職大学院) 教職実践専攻

< 共通科目 >

教育課程の課題探求

Problems and Issues in Curriculum Development and Implementation

小倉 康 准教授・宇佐見香代 教授・井上 馨 特任教授(実務家教員)・

河野秀樹 教授(実務家教員)・上園竜之介 准教授(実務家教員)

教育課程の編成と実施に関する深い理論的知識を獲得するとともに実践的力量の基礎を獲得することを目標とする。①カリキュラム分析、②学力評価分析、③学習時間分析、④学習環境分析、⑤個をのばす教育、⑥学校外との連携に必要な力を育成する。

教科指導の課題探求

Problems and Issues in Teaching School Subjects

及川 賢 准教授・河村美穂 教授・山本利一 教授・松澤勇治 特任教授(実務家教員)・

河野秀樹 教授(実務家教員)・上園竜之介 准教授(実務家教員)

実践的な教科指導力の育成を目標とする。特に①授業づくり、②教材作成、③授業分析・授業評価、④現代的教育課題の教材化、について学修する。具体的事例として教科を広く取り上げ、教科学習全般を通じて育成すべき資質・能力の明確化を視野に入れながら、どの教科指導にも必要となる基礎力の育成を図る。

生徒指導・教育相談の課題探求

Problems and Issues in Student Guidance and Educational Consultation

澤崎俊之 教授・名越斉子 准教授・櫻井康博 教授(実務家教員)

生徒指導と教育相談に関する深い理論的知識を獲得するとともに、実践的力量の基礎を獲得することを目標とする。①幼児・児童・生徒理解の意義と方法、②学級集団をとらえる視点と手法、③問題行動の理解と組織的対応の構築、④教育相談の理論的基盤と手法、⑤他機関との連携、に関する内容を修得する。

教育経営の課題探求

Problems and Issues in School Administration

庄司康生 教授・大澤利彦 教授(実務家教員)・安原輝彦 教授(実務家教員)

学級・学校におけるマネジメントの基本的知識と技能を実践的な事例を通して獲得するとともに、現場での適応力を身につけることを目標とする。①学級経営、②学校経営、③教員研修、について学修し、授業と学びの創造ならびに学校の管理・運営とファシリテートをトータルなビジョンを有しつつ進められる力を育成する。

学校と教職の課題探求

Problems and Issues in School and Teaching Career

磯田 三津子准教授・宇佐見 香代教授・大澤利彦 教授(実務家教員)・

安原輝彦 教授(実務家教員)

①教師像の類型、②教師文化と教師のアイデンティティ、③反省的実践家、④教師の同僚性、⑤今日の教師が抱える課題について学修する講義。教職専門性とは何か、その在り方についての基礎的な理論についての理解を深めるとともに、専門的力量をいかに形成することができるのかについて実践的知識を獲得する。

< 学校における実習科目(実地研究) >

実地研究 I

Field Study I

指 導 教 員

児童生徒の実態及び発達理解と学校教育の全体構造とを関連づけ、学校教育における実践を深く理解することを目標とする。そのために、学校に向き、①教育課程、②校内体制、③指導計画の作成と学習指導、④行動特性の理解、⑤児童生徒支援の実際等についての基礎的な理解を図るための実地学習を行う。

実地研究 I (特別支援教育)

Field Study I

指 導 教 員

実地研究では、学部段階で習得した特別支援教育に関する基礎的知識をもとに、附属学校での観察、教育実践

への参加を通して、特別支援教育における実践力の一層の向上を図ること、特別支援教育の実践における現代的課題を探究することを目的とする。

実地研究Ⅱ

Field Study II

指導教員

学卒院生は、実地研究Ⅰ及び課題研究Ⅰにより深めた学校教育に対する課題意識を基に、課題研究Ⅱとの往還、連携協力校等での実践を通して、研究テーマに関する課題の解決策を立案する能力及び解決のための実践力を高める。

現職院生は、2年次には勤務校において課題解決に向けて実践的に研究を継続する。学校課題の明確化とその分析を基に、実際に学校内外と協働して課題解決に取り組む力量や授業改善、また、様々な教育的ニーズに応じた適切な学習支援等を組織的にリードし、学校全体の授業力向上や学習支援等の充実を図る力量を養う。

実地研究Ⅱ（特別支援教育）

Field Study II

指導教員

学卒院生は、実地研究Ⅰ（特別支援教育）及び課題研究Ⅰ（特別支援教育）により深めた特別支援教育に対する問題意識を基に、実地研究Ⅱ（特別支援教育）における実践的課題探究に臨む。

現職院生は、2年次には、勤務校において課題解決に向けて実践的に研究を継続する。学校課題の明確化とその分析を基に、実際に学校内外と協働して課題解決に取り組む力量や授業改善、また、様々な教育的ニーズに応じた適切な学習支援等を組織的にリードし、学校全体の授業力向上や学習支援等の充実を図る力量を養う。

< 課題研究 >

課題研究Ⅰ

Tutorial I

指導教員

①教育課程、②教科指導、③生徒指導及び教育相談、④教育経営、⑤学校教育と教員の在り方について、実地研究Ⅰでの幅広い実践経験の中から具体的な課題意識を明確化することを目標とする。実地研究Ⅰとの往還により授業を進め、指導教員との協議のもと、定期的に教育実践のリフレクションを行いながら、研究実践をまとめる。

課題研究Ⅰ（特別支援教育）

Tutorial I

指導教員

通常の学校又は特別支援学校で取り組まれている特別支援教育の内容に関する基礎的事項と課題を理解することを目標とする。実地研究Ⅰ（特別支援教育）との往還により、①特別支援教育における教育課程、②特別支援教育の校内支援体制、③特別な教育的支援を必要とする児童生徒の行動特性、④特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援計画の作成、⑤特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援実践についての基礎的事項と課題の理解を図る。

課題研究Ⅱ

Tutorial II

指導教員

課題研究Ⅰを通して明確にした、①教育課程、②教科指導、③生徒指導及び教育相談、④教育経営、⑤学校教育と教員の在り方に関する課題を解決する具体的な方策を立案し、実践を通してその検証を行うことを目標とする。研究者教員・実務家教員・研究協力校教員との協議を定期的に行いつつ進める実地研究Ⅱとの往還により、学校教育現場での課題解決のための理論と技術を検証・実証し、課題研究報告書を作成する。

課題研究Ⅱ（特別支援教育）

Tutorial II

指導教員

課題研究Ⅰ（特別支援教育）を通して明確にした特別支援教育に関する課題意識に基づき、通常の学校又は特別支援学校における特別支援教育の実践における現代的課題の解決に必要な事項を修得することを目標とする。実地研究Ⅱ（特別支援教育）との往還により、①教育課程編成の実際と課題、②各種心理教育アセスメントの実際と課題、③対象児の発達状態の総合的評価と支援目標の設定の実際と課題、④特別な教育的支援に関わる理論とその応用としての教育実践の実際と課題、⑤特別な教育的支援の理論化と今後の課題について理解を深め、課題研究報告書を作成する。

<教育実践力高度化コース科目>

教科の学習指導と実践（必修）

Theory and Practice in Teaching School Subjects

教科関係の専任教員及び兼任教員

教科教育を支える理論をおさえつつ、それらを授業実践でより効果的に指導する方法等を学ぶことを目標とする。本授業は全体学習とグループ学習で構成される。全体学習においては、教科教育に共通する主題について学習し、教育課程全般の課題理解を図る。グループ学習は教科ごとに行われ、教育課程への理解を図る教科共通内容と、教科独自内容からなる。

学校教育と進路選択

School Education and Career Guidance

小倉 康 准教授・井上 馨 特任教授（実務家教員）・上園竜之介 准教授（実務家教員）

義務教育での学校教育における人材育成の実践上の課題について、具体例を参照しつつ考察することを目標とする。現在の学校の教育計画（教育課程と教育課程外）をふり返り必要な改善点を特定するとともに改善の方策についての見通しをもつ力を育成する。

授業研究方法論演習

Seminar in Lesson Analysis

河村美穂 教授・河野秀樹 教授（実務家教員）

学校で実践されている授業の記録を分析することを通して、新たなカリキュラム開発のための方法論の獲得を目標とする。教育実践研究に有用な量的研究法、質的研究方法について具体例を通して学ぶことによって、授業者が研究的視点をもって授業を分析し、カリキュラム開発につなげる方法を修得する。

学校課題改善演習

Seminar in School Improvement

山本利一 教授・大澤利彦 教授（実務家教員）・松澤勇治 特任教授（実務家教員）

教育現場における具体的な課題をテーマとし、その解決の方策を、先進事例等の分析をもとに考察する。①「小（中）学校の学力向上」や「小中を一貫した教育の推進」といった学校現場の具体的な課題を取り上げ、②データ分析による実態把握等を基にした具体的な解決策を立案する力を育成する。

学校の安全と危機管理

Safety and Risk Management of Schools

安原輝彦 教授（実務家教員）・馬場久志 教授

幼児・児童・生徒の安全確保の方策と危機管理の在り方について考察し、安全教育・防災教育のカリキュラム開発、実践的指導力の向上を目標とする。①学校事故に対する学校や教師の緊急対応、心肺蘇生、組織的な対応、事故防止策など、子どものいのちを守る方策と危機管理の在り方と教師の役割等について学ぶこと、②子どもの安全を確保するための方策と教師の役割、防災教育の在り方について学ぶことを通して、③学校安全計画の設計、安全教育や防災教育のカリキュラムを開発する力を育成する。

校内研究会アクション・リサーチ

School Reform and Lesson Development through in-school seminar

庄司康生 教授・河野秀樹 教授（実務家教員）

校内研究会への参与研究（アクション・リサーチ）に基づき、学校改革・授業改善の推進について考察する。学校改革と授業改善の事例の検討を通して、学校改革・授業改善を牽引する力を育成する。

外国人教育と多文化共生

Education of Foreign Students and Multicultural Symbiosis

磯田三津子 准教授・上園竜之介 准教授（実務家教員）

外国にルーツのある子どもをめぐって展開された日本の学校における取り組みを理解することを通して、多文化共生に向けた学級づくりと、カリキュラム構成に必要な力を育成することを目的とする。そのために、いくつ

かの自治体の外国人教育方針・指針の検討及び、外国にルーツのある子どもたちをめぐって行われた授業実践の分析を行う。

言語活動と教材開発

Language Activities and Material Development

及川 賢 准教授・河野秀樹 教授(実務家教員)

言語活動の具体例を通して、その意義や役割を分析する。小学校の外国語活動と中学校の英語を中心に、諸教科における言語活動の意義や役割を理解し、適切な言語活動と教材を開発する力を育成する。

教育実践と教育学

Theory and Practice in Pedagogy

安藤聡彦 教授・川元克秀 准教授・北田佳子 准教授・高橋 哲 准教授
・田代美江子 教授・福島賢二 准教授・山田恵吾 准教授

教育実践を支える教育学に関する理論をおさえつつ、子どもの実態、学校を取り巻く環境の変化、教育政策の最新事情を学ぶことを目標とする。

教育臨床学の理論と実践

Theory and Practice of Clinical Study on Education

岩川直樹 教授・船橋一男 教授・野村泰朗 准教授

教育臨床学を支える理論をおさえつつ、授業実践を通してより効果的な授業づくり、指導方法等について、授業研究や授業改善を進めるための方法論を学ぶことを目標とする。

総合学習カリキュラム開発演習

Seminar in Curriculum Development of Comprehensive Learning

宇佐見香代 教授・上園竜之介 准教授(実務家教員)

総合学習の教材やカリキュラムの開発を主な対象として、各学校の課題に即した教育計画を適切に組織し、効果的に学習指導を展開する方策を探求することを目標とする講義。①総合学習に関する学習材開発・カリキュラム開発やその実施の中で、一般によく指摘されている課題を概観し、具体的な解決の方策を探究するとともに、②様々な先進校の事例を解説・分析しながら、各学校の課題の抱えていた課題と、その解決のための実際のカリキュラム開発や学習展開を実際を検討し、その価値を明確にする力を育成する。

幼児教育実践研究

Practical Study in Early Childhood Education

小田倉泉 准教授・首藤敏元 教授・寺菌さおり 准教授・三橋さゆり 准教授

幼児教育を支える理論をおさえつつ、それらを教育実践でより効果的に指導する方法等を学ぶことを目標とする講義。①幼児教育理論の歴史的変遷と幼児教育課程論、②幼児の発育における支援と課題、③幼児期の発達的特徴と幼児理解、④保育内容と幼児教育方法、⑤幼児期の家庭教育支援とその課題について学修する。到達目標は、教育、心理、保健の面から理論に裏付けられた指導計画を適切に立案する力及び応用的な実践力を育成する。

<発達臨床支援高度化コース科目>

学校コンサルテーション・教育相談演習（必修）

Seminar in School Consultation

尾崎啓子 教授・櫻井康博 教授（実務家教員）

学校臨床における教育相談について、①事例研究、②保護者理解と対応、③学校コンサルテーションのあり方、④校内委員会の有効な運用、⑤他機関との連携、専門家との協働のあり方を探る。学校での生活や学習につまずきをもつ児童生徒の担任教師や学校へのコンサルテーションの実践に必要な理論を修得し、求められる技術を育成する。

発達障害心理学の実践と課題

Psychological Analysis of Educational Praxis for Children with Developmental Disabilities

葉石光一 教授・長江清和 教授（実務家教員）

発達障害児の教育支援において必要となる心理学的事項を理解し、それを支援の実践に役立てる方法を学ぶことを目的とする。発達障害児の教育的支援の実践において配慮すべき「動機付け」「自己効力感」「自尊感情」「メタ認知」「実行機能」について基礎知識を学習し、発達障害児の心理特性にそった支援計画の立案に役立てる力を育成する。

重度・重複障害児の教育実践と課題

Education of Children with Severe and Multiple Disabilities

細渕富夫 教授・櫻井康博 教授（実務家教員）

病弱児等の教育の歴史と意義を概観しつつ、現代の教育課題の理解を深めることを目標とする。特に医療的ケアを有する児童生徒の教育実践研究を分析し、病気療養児や重い障害のある児童生徒のための授業づくりの力量を高める。

ソーシャルサポート・ネットワーク演習

Seminar on Social Support Network

宗澤忠雄 准教授・櫻井康博 教授（実務家教員）

貧困や虐待など特別な困難を抱える障害のある子どもへの地域における連携支援について、①学校教育・保健・福祉・医療等の連携支援に関する先行諸研究を明らかにし、②貧困・虐待の連携支援に関する詳細な事例検討を実施し、③学校の教育的支援の充実に資するソーシャルサポート・ネットワークの構築と連携の在り方を検討する。以上を通じて、障害のある児童生徒を学校を核に地域連携で支援するために必要な力を育成する。

特別支援教育コーディネーター演習

Seminar in Special Needs Education Coordinator

名越斉子 准教授・長江清和 教授（実務家教員）

①先行事例をもとに、エビデンスに基づく学校コンサルテーションの在り方を議論し、②学校コンサルテーションの提供、活用を行い、③実地事例の報告・協議を行う。地域の学校への学校コンサルテーションと、その活用に必要な力を育成する。

特別支援教育実践研究

Seminar in Practice of Special Needs Education

山中冴子准教授・櫻井康博 教授（実務家教員）

特別支援教育の実践論を学びつつ、各種の実践報告を収集し（場合によっては、参加者の実践を報告してもらい）、分析することを通して、特別支援教育分野で蓄積されてきた理論と実践を通常教育分野にどのようにに関連させることができるのかを考える。実践を報告する力、実践を分析する力、実践を議論する力の育成を目指す。

発達臨床アセスメント演習

Seminar in Assessment of Learner with Special Educational Needs

名越斉子 准教授・長江清和 教授（実務家教員）

特別な教育的支援を必要とする子どものニーズについて、関連する内的、外的要因およびそれらの関連から理解し、効果的な支援のあり方を学ぶことを目的とする。子どもの認知・学力・行動を適切にアセスメントする力、

アセスメントの解釈とそれに基づく支援を立案する力を育成する。

学校臨床心理学実践演習

Practical Seminar in School Clinical Psychology

澤崎俊之 教授・長江清和 教授(実務家教員)

①幼児・児童・生徒理解の意義と方法、②問題行動の生態学的理解と組織的対応、③教育相談、生徒指導の理論的基盤と方法、④予防的・開発的生徒指導、教育相談の意義と方法、⑤他機関との連携、⑥教師の成長、について学修する。学校臨床心理学に関する理論を修得し、生徒指導・教育相談に関する実践的力量を育てる。

カウンセリング実践演習

Practical Seminar of Counseling

堀田香織 教授・椋田容世 准教授

学校の外の不登校児童生徒たち、母子家庭の現状と支援、離婚家庭の子どもと別れて暮らす父親との面会交流、家庭裁判所の離婚調停と子どもたち、虐待事例における児童相談所と学校との連携、性的マイノリティ LGBT と学校、保護者対応の困難事例、スクールカウンセラーと教員の連携など、現在学校が抱えるテーマについて、問題提起し討論を行う。

専 修	論 文 題 目
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における子どもの笑いの現代的特徴と問題 －大量消費社会化による笑いの質の転換を視点として－ ・「ケアの倫理」の視点から見る若者の「依存」と「自律」 ・「ジェンダー平等」の視点から見る中国性教育の現状と課題 ・3.11被災地における「復興教育」施策の検討 －過疎地域の“復興”をめぐる問題の分析より－ ・日本におけるセクシュアル・マイノリティ〈運動〉の変遷と特徴 －〈運動〉の「運営」と「参加者」に着目して－ ・「よりみち」モデル:高等学校における教科間連携を意図した新型授業モデルの構築 ・シニアの経験学習に関する研究 －日本語教室におけるシニアボランティアの語りに注目して－ ・家庭教育が中国の小学生に及ぼす影響 －大学生の回想を通してみた親の「学習重視」の子育てと子どもへの影響－ ・White lie の理解の発達のプロセス ・中国延辺朝鮮自治州における「出稼ぎ」が「留守児童」に及ぼす影響 ・幼児の保護者における「もったいない」認知と家庭内の環境教育
学校臨床心理	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力の育成を重視するゴミ分別ゲーミング教材の開発 ・多文化教育理論の批判的検討 －日本における多文化主義社会への可能性を手掛かりに－ ・現代の大学生の浮気に関する研究 －恋愛類型・愛着類型との関連から－ ・自傷行為をやめるプロセスについての語り －自傷行為者の回復プロセスから学校での支援を考える－ ・学業成績の良い留守児童の親の出稼ぎによる心理的悪影響と回復プロセス －中国湖南省岳陽県の例から－
学校保健学	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育における充実した健康教育実践へのプロセス －小学校校長へのインタビューをもとに－ ・中学生に対するインターネット依存と心身の健康問題に関する保健指導 ・東日本大震災を経験した高校生の震災1年後における心理プロセスに関する研究 ・小学校における保健室登校児童への教室復帰に向けた有効な支援方法の検討 －保護者、学校関係者へのインタビュー調査から－ ・高等学校定時制における性に関する指導の現状と課題 ・子どもの自尊感情に対する養護教諭の認識に関する研究
国語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・『竹取物語』研究 －視座と位相から－ ・少女文化と夢野久作 －『ルルとミミ』から『瓶詰の地獄』、『少女地獄』－
社会科教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化としての民族伝承の教育的伝承 －大槌町吉里吉里地区の虎舞講中を事例に－ ・突厥外交再考 －「中央ユーラシア」・「東部ユーラシア」概念の再検討を含めて－

<p>数学教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Sorgenfrey直線の部分空間に関する研究 ・ Kato-Ponceの不等式の端点評価 ・ 解析的思考を通じた図形の論証指導に関する研究 ・ 1次元Dirac-Klein-Gordon方程式の初期値問題の適切性 ・ 時間に依存する係数がついた非線形Schrödinger方程式の解の爆発 ・ 数学教育における日常の文脈に即した問題に関する研究 <ul style="list-style-type: none"> －数学的シミュレーションとの関連に着目して－
<p>理科教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ へびつかい座分子雲における若い惑星質量天体の探査 ・ Arduinoを用いたコンピュータ計測 ・ 埼玉大学55cm望遠鏡システムの性能・精度評価試験と望遠鏡制御開発 ・ 光強度変動補償機構を備えた共振器制御方法の開発 ・ 宝蔵寺沼水における水生動物相調査と採捕動物の消化管内容物の同定実験 ・ ナトリウムポンプ型ロドプシン(NaR)へのリジンアナログの導入とその性質の記述 ・ すばる8.2m望遠鏡/MOIRCSを用いたへび座分子雲における若い超低質量天体の探査観測 ・ 自己評価を行うことが批判的思考力の育成に及ぼす効果 ・ 「Bordaの振り子」の測定システムの開発 ・ 中国大陸衝突帯の東方延長についての研究 <ul style="list-style-type: none"> －九州中央部および石垣島の変成岩の全岩化学組成分析－ ・ ナトリウムポンプ型ロドプシンへのチロシンアナログの導入とその性質の記述 ・ 放電プラズマを用いた金属の仕事関数測定
<p>音楽教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ プッチーニのオペラ《ラ・ボエーム》における一考察 <ul style="list-style-type: none"> －ミミの人物像と作曲技法を中心に－ ・ オペラの旋律を用いて編曲されたフルート作品の研究 <ul style="list-style-type: none"> －原曲とフルートの魅力を兼ね備えた演奏を目指して－ ・ ドビュッシーの歌曲研究　－初期のソプラノ作品に焦点をあてて－ ・ 声楽初心者の学習導入時における母音の取り扱いに関する一考察 <ul style="list-style-type: none"> －日本語の母音調音の特性と声楽発声のメカニズムに焦点を当てて－
<p>美術教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の描画に対する評価の観点についての研究　－SD法を用いた量的な検討から－ ・ 絵画における空間表現の研究　－《十字架を担うキリスト》を中心に－ ・ 共感覚における感情表現　－感覚と美術表現の相関－ ・ 「強い」色彩と色面構成の研究　－ポール・ゴーガン「タヒチシリーズ」の考察より－ ・ 〈気配〉をもとめて　－表現における呼吸と反応－ ・ 粘土を素材として立体表現における教材開発とワークショップの研究
<p>保健体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒップホップダンスにおける世界トップレベルチームのダンス観に関する研究 <ul style="list-style-type: none"> －韓国JINJO CREW（2001年結成）を通して－ ・ 体力における重点指導領域「投力」の向上の一考察 <ul style="list-style-type: none"> －小中一貫教育における体力向上の取組－ ・ バレーボールのアンダーハンドパスにおける運動不振学生の視覚探索行動 ・ 柔道における失敗学の応用　－競技と事故の両面から－ ・ 『兵法家伝書』にみる「機前のはたらき」について

技術教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学技術ガバナンスの視点に基づく技術評価の学習の理論と実践
家政教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の社会化を考慮した生活設計学習に関する研究 ・ 各種材料・調製方法がシフォンケーキの性状に及ぼす影響 ・ 布を用いた製作学習の実態とICTを用いた改善への試み ・ 中学・高等学校家庭科における領域横断的な住教育の提案
英語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ Extractions from Adjunct Clauses: Non-Syntactic Approach (付加部節からの抽出－非統語的なアプローチ) ・ Relationship among Learner's Proficiency and Material Difficulty on Reading Strategy Use in the Case of EFL Learners (EFL学習者における学習者の習熟度と教材の難易度及び読解方略使用の関係性)

【平成27年度修了】

専 修	論 文 題 目
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国系ニューカマー生徒の文化受容態度の変化 －中学生の学校生活を通して－ ・ 宮原誠一青年期教育論の基本的構成－学習内容論と学習組織論に注目して－ ・ 高齢者教育における退職シニアの学び－市民大学に注目して－ ・ 男女別学校からみる日本における学校教育の課題 ・ 米騒動の教育史的研究－大正期漁村女性の主体形成の観点から－ ・ 「看護」をとりまく「ジェンダー不平等」の構造－「看護」における「ケア」再考－ ・ 「在日同胞者ネットワーク」への参与過程 －中国につながりを持つ子どもに着目して－ ・ 大学生におけるボランティア活動の継続の教育的意義 －障害児とかかわるボランティアを中心に－ ・ 学童保育における協働性に関する研究 ・ 幼児の困難を乗り越える力を育てるための保育者の関わり方
学校臨床心理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒の啓発的経験を通じた責任感を養う方法の研究 ・ 子どもの描く略図を生かした問題解決力を高める指導法に関する研究 ・ 子どもが自律し他者とつながりあう教室－規範意識の強化をこえて－
学校保健学	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルスプロモーションの考え方に基づいた学校保健活動の展開 －ある中学校における健康問題の予防・解決・低減に向けた養護教諭の取組－ ・ 学校保健委員会が発展するための要因の検討 ・ 5年一貫看護師養成課程における生徒・学生の職業アイデンティティの形成 ・ 近代資本主義の成立と学校におけるケア機能－保健室が担う社会の代替機能－ ・ A特別支援学校の自閉症児童生徒への口腔衛生に関する支援の実態と課題 －保護者、学校関係者のインタビュー調査に基づいて－
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ のちに知的障害のない自閉症スペクトラム障害（ASD）児と診断される子どもの初期発達についての研究－生後4か月齢の乳児のホームビデオ記録による検討－ ・ ダウン症の子をもつ父親の心理的体験のプロセス ・ 自閉症児に対するVOCAを用いたコミュニケーション指導とその効果 －言語的・非言語的コミュニケーション行動に着目して－
国語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 坂上郎女の研究－姫百合の歌考－ ・ 詩人と「古譚」－中島敦「古譚」論－ ・ 新古今和歌集の幻想性－植物と定家和歌観から－ ・ 中島敦『過去帳』『狼疾記』と不安 ・ 源氏物語・末摘花考－醜女を描く意義－

<p>社会科教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力を育成する中等歴史教育カリキュラムの構成についての研究 ーオーストラリアの歴史教育カリキュラムを中心としてー ・社会科における追憶アプローチを用いた「災害学習」 ・日本のシティズンシップ教育研究の特質ー社会科との関係性を中心にー ・清代初期～中期における政権中枢組織とその変遷 ー議政王大臣会議から皇帝集権の時代へー ・北朝貴族に関するー考察ー南朝との比較を通してー ・明清期における朝貢＝海禁体制と互市の研究ー広東省広州の事例を中心にー
<p>数学教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジーを用いた数学的モデリング指導に関する基礎的研究 ：メディア理論における視点から ・図形の相互関係を捉える論理的な考え・表現の育成 ー作図などの作業的・体験的な活動に着目してー ・中等教育段階における変換に着目した数学教材の開発 ー「90°システム広告」を題材とした授業実践を手掛かりにしてー
<p>理科教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋地殻の脱水素反応と海嶺熱水起源有機炭素の空間分布 ーみかぶ緑色岩と三波川エクログジャイトを例としてー ・3波長同時偏光撮像装置の開発 ・中学校力学分野におけるセンサー計測を利用した指導法の研究 ーMIF素朴概念の概念転換を中心にー ・微生物型ロドプシンの大量調製を目指した大腸菌発現系の検討 ・中学校教員の理科指導に必要な教材内容の知識を点検し補うための手法の開発 ・原子スペクトルにおける磁気光学効果の観測とそのレーザー制御への応用 ・モウセンゴケ科食虫植物の捕食過程ープロテアーゼ活性の発現と細胞構造ー ・変調分光法を用いた高フィネス共振器の安定化制御 ・バクテリオロドプシンへのエチオニンの導入とその性質の記述
<p>音楽教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県郡山市における合唱教育の歴史的変遷 ・ショパンのマズルカOp.24の演奏研究 ーポーランドの民族音楽に由来する特徴を踏まえてー ・メゾ・ソプラノの学習者に向けた選曲に関するー提案 ーC.F.グノーのオペラ・アリアに着目してー ・ウィリアム・ウォルトンの作品研究ー交響曲第1番の分析を通してー ・思考力・判断力・表現力を育成するための授業構成の試み ー言語活動の意義と役割に焦点を当ててー ・うたごえ運動の今後を探るー初期の活動との比較を通してー ・日本におけるピアノ教育の諸問題とその解決法に関するー考察 ーロシアを中心とする諸外国のピアノ教育との比較を通してー ・ショスタコーヴィチ作曲《レビヤートキン大尉の4つの詩》における風刺性

美術教育	<ul style="list-style-type: none"> ・空想画に対応する現実空間の絵画的応用の研究-パオロ・ウッチェロの絵画を基盤に- ・美術による『純粹』の導き - (自己の)生を許す為に - ・描くとは何か。～大学での授業や美術館でのWSなどを通しての考察～ ・性的欲求と芸術表現 ・平面作品における空間表現の変遷 ・図画工作科教育によって「身につく能力」の考察-剣道教育を比較検討の題材として- ・《 包 》 その意 - 感覚から -
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業におけるブラインドサッカーの教育効果の検討 -インクルーシブな社会に向けて- ・小学校体育におけるマット運動の技の体系の再構成 -腰角増大の操作の観点から複数ある系統の一元化- ・運動能力・技能が低い学習者の動機づけに関する研究 -自己決定理論における自律性支援行動に着目して- ・チーム全体の動き方を示した指導方法の考察-球技・バスケットボールの指導から- ・発達段階に応じた短距離走指導の一考察 -疾走能力・主観的運動強度・意識イメージの観点から-
技術教育	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミニウム合金押出型材に曲率と異形断面を与える回転引き曲げ加工 ・生物育成に関する技術の学習を支援するための教材・教具の開発 ・水力発電を題材とした教材・教具の開発と指導過程の提案
家政教育	<ul style="list-style-type: none"> ・スロイド教育に関する理念的・実践的研究-スウェーデン人大学生調査を中心に- ・温熱特性からみる医療用ウィッグに関する研究
英語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・The Effects of Collaborative Learning on EFL Students in Terms of Writing Skills and Motivation (外国語学習者への協同学習の効果、作文力と学ぶ意欲に関して) ・The Role of Example Sentences in Vocabulary Retention in the Case of Intermediate Japanese EFL Learners (例文の提示が日本人英語学習者の語彙記憶保持に与える役割)

【平成28年度修了】

専 修	論 文 題 目
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育についての構造的特質の解明－「ノンエリート」に焦点をあてて－ ・ 道徳教育における全面主義の概念に関する研究－教育的側面と政治的側面の比較から－ ・ 「ケアの倫理」の視点からみるセックスワーカーの「人権保障」 ・ 乳児の疑問文イントネーション識別と利用の発達 ・ 日本の不登校問題から見る中国の不登校の現状－中国の農村地域中学生を対象として－ ・ 「過程の質」から教育の質を検討する <ul style="list-style-type: none"> － 「子ども暮らし」・プロジェクト活動を中心とした実践から－ ・ 養育者における乳幼児への音楽的関わり <ul style="list-style-type: none"> － 乳幼児の音楽行動及び社会性発達との関連－
学校臨床心理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「教室における学習」場面での教師－生徒、生徒－生徒間の相互作用についての研究 ・ 中国の農村地域における両親の期待が子どもに与える影響 <ul style="list-style-type: none"> － 子どもの時の夢形成と職業形成において－ ・ 多文化共生を目指す社会教育の役割－川崎・ふれあい館に焦点を当てて－
学校保健学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の健康課題解決に向けた支援における養護教諭とスクールソーシャルワーカーとの連携の実態 ・ 養護教諭の根拠に基づく応急処置に関する研究－応急処置方法と習得機会に着目して－ ・ 日本に在住するブラジル人の子供たちの健康生活に関する調査研究 <ul style="list-style-type: none"> － ブラジル人学校の教職員へのインタビュー調査及び子供への質問紙調査に基づいて－ ・ 知的障害特別支援学校における性教育の実態および教員の意識 ・ 自傷行為のある中・高校生に対する養護教諭の支援プロセス
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通級指導教室におけるASD児の般化・維持効果を高めるソーシャルスキルトレーニングのあり方 <ul style="list-style-type: none"> － ボードゲームリハーサルにソーシャルストーリーを組み合わせた効果検証を通して－ ・ 埼玉県のきょうだい支援の現状と課題に関する調査研究 <ul style="list-style-type: none"> － 支援に携わる団体・施設を対象にして－
国語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『尚書』と青銅器銘文の相關研究－「明德慎罰」を端緒として－ ・ 陳寿の歴史観－『三国志』の構造と天命－ ・ 怪談の語り方－近世・近代・現代の比較から－ ・ 古典教育の通史的研究－中学校を中心に－ ・ 大衆文学という仮面－初期作品に見る乱歩の素顔－ ・ マッピングにおける思考の形成過程の研究
社会科教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近世帝国としての後期オスマン帝国－徴税請負制を中心に－ ・ 唐代における韓人の活動－東部ユーラシアの視点を踏まえて－ ・ 東京都中央区におけるマンションの供給と土地利用の変化に関する研究

<p>数学教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTsの諸機能に着目したモデリング評価方法に関する一考察。 一教育版レゴ®マインドストーム®EV3のデータロギング機能と グラフ関数電卓のトレース機能を手かがりとして一 ・ 算数・数学教師の持つ指導力に関する考察一机間指導に焦点を当てて一 ・ ランダム項に依って駆動された2次元流体に関する研究 一2次元ナビエ・ストークス方程式を考察の対象として一 ・ 外国人児童・生徒の数学学習の改善に関する研究一日本と中国の比較を通して一
<p>理科教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水生食虫植物ムジナモの捕虫葉閉合運動の仕組み ・ ムジナモ消化腺毛における酸性フォスファターゼの分泌と細胞構造変化 ・ 埼玉大学望遠鏡観測装置制御系“S a C R Aシステム”の開発 ・ 高校における科学技術人材育成のための進路指導、キャリア教育の課題 一科学技術系大学生へのインタビュー調査から一 ・ 理科教育におけるアーギュメントに関する研究一その位置づけと教材・指導法について一
<p>音楽教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノにおける初見演奏能力の開発 一音楽科授業での多彩な伴奏の実現に向けて一 ・ C.ドビュッシーのピアノ作品に関する研究一打鍵の方法に着目して一 ・ L.ゴットシャルクのピアノ作品研究一F.ショパンとの関連に着目して一 ・ 日本語の特徴と日本語の発音についての合唱指導法及び表現方法 一合唱指導から学んだ改善・反省を通じて一 ・ 中学校音楽科におけるアコースティック・ギターの基礎的な奏法に関する指導法 一ペア学習による主体的な学びを目指して一
<p>美術教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女の子の魅力一明治期から現代までの「女の子」文化を中心として一 ・ 〈楽しい〉をつくる 一食の空間において 一 ・ 美的発達に伴う鑑賞法の研究一アートカードを使った鑑賞の導入一
<p>保健体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創作ダンスの作品創作過程と指導についての研究一S大学ダンス部を事例として一 ・ 柔道における競技者間同士の暴力行為の実態
<p>技術教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再湛水した人工貯水池における水生植生の環境マネジメント 一カンボジア・アンコール地域北バライを例に一
<p>家政教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の食生活学習の研究一「応用可能性」の醸成に注目して一 ・ 小学校家庭科の調理学習における児童の気持ちの高まりと知識の獲得の関連について 一改訂版タキソノミーを用いた授業記録の分析を通して一 ・ プロセスを重視した調理実習教材の検討
<p>英語教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Effects of Formal and Content Schema on Speech Performances: Use of Basic Pattern in the Case of Japanese EFL Learners (形式スキーマ及び内容スキーマがスピーチパフォーマンスに及ぼす影響一日本人英語学習者における基本パターンの使用一) ・ A Study of Literature-Based English Teaching: A Proposal of Practical Teaching Methods Adopting Literature and Style (文学教材を用いた英語教育一文学と文体を用いた実践的教育方法の提案一)